

よう

こう

陽 光

菊陽町立菊陽中部小学校
2021年（令和3年）



学校だより
5月18日
第24号
文責：佐賀

校 訓
夢を持って歩み続ける



5月梅雨入り、学習は本格的に・・・

今年度がスタートして、およそ1ヶ月半、大型連休も終わって学校の教育活動も本格的になってきました。子どもたちは、マスクを常に着用して毎時間の授業に集中しています。「コロナ禍でもやる！」という信念でいましたが、昨今の感染拡大により、6月に予定していました運動会は秋に延期をしました。命を守ることを最優先に決断したことをどうぞ御理解いただきたいと思っております。

感染予防の徹底と差別や偏見の撤廃を・・・臨時集会で語ったこと

菊陽中部小学校は、「命（心と体）を大切にする 思いやりあふれる学校」です。みなさんは、そんな学校を創る大切な大切な一人一人です。そんなみなさんに、今日は校長先生から大切な話を二つします。

一つ目のお話です。昨日は、中部小学校で、新型コロナウイルス感染症の拡大のおそれがあると保健所から連絡があったので、一日休校としました。

みなさんは、昨日一日、約束を守ってお家にいたことでしょうか。

昨日、学校では、先生方全員で、校舎内の「消毒作業」を午前中いっぱいかかって行いました。みなさんの机やイス、トイレや階段の手すり、水道の蛇口など、手に触れるところをていねいに消毒しました。ですから、みなさんは安心して学校で過ごしてください。

ただし、これからお願いすることを必ず守ってください。

①マスクは給食を食べるとき以外は、必ず着けてください。外さないでください。

②毎朝の検温を必ずやって、発熱した時や体の具合が悪いときは、学校を休んでください。また、自分が何となくでも家族の方が具合が悪ければ、登校しないでください。

③なるべく密にならない過ごし方を考え、教室などの換気は常に行ってください。

手指の消毒もできるだけ行ってください。

現在、熊本県内、菊陽町でも感染する人や症状が重くなる人、亡くなってしまう人が増えています。去年からずっと感染予防を学校でもやってきましたが、今がこれまでに一番気を付ける時、一番予防をしなければならない時です。

どうかみなさん、自分の大切な命、友達や先生の命、家族の命を守るために、先ほど言ったようなことを全員が実行してください。お願いします。

二つ目のお話です。現在日本では、コロナに感染した人たちや医療従事者（お医者さんや看護師さん）への差別や偏見がいくつも報道されています。

コロナに感染した人が悪いのですか？悪くありません。コロナには誰でも感染する可能性があるのです。そして、感染した人はつらい、きつい治療を受ける人もいて、体も心も苦しいのです。自分の命は大丈夫かと、とても不安な気持ちになるのです。それなのに、平気でその人に「あなたはコロナにかかったでしょ。近寄らんで。」とか、「あなたは、ずっと学校を休んでいたけれど、コロナにかかってたんでしょ。」と証拠もないのに言ってしまう。こんなおかしいことがあっていいのでしょうか？いいわけないですよ。

お医者さんや看護師さんたちは、患者さんの命を救うために必死になって、寝る時間も削って、がんばっておられます。差別するのではなく、理解し、応援することが大事だと思います。ですから、みなさんをお願いしたいことは、確かな証拠もないのに勝手に決めつけて「あの人コロナでしょ？」などと言ったりしない。そうではなく、本当にコロナにかかった人を気遣うこと、苦しさを分かち合うこと、差別することはおかしいじゃないかと指摘できること、こんな子どもであって欲しいと強く思います。

中部小のみなさんは、きっとそれができると校長先生は信じています。

菊陽中部小学校は、「命（心と体）を大切にする 思いやりあふれる学校」です。